中村俊定文庫
文庫 18
593

[illegible]

秋句集

[illegible]

中村俊定文庫

谷川の[illegible]より郭公山路を　子晨

白雲の[illegible]速遠[illegible]て白の[illegible]あしも[illegible]集のこと

[illegible]

起[illegible]の俳胃の強[illegible]吟[illegible]　流波

五蓮

[illegible]の[illegible]より[illegible]の[illegible]
所中[illegible]
[illegible]の[illegible]紀八朔の田の[illegible]
朝霧[illegible]か[illegible]八[illegible]の森の中
芦原より汐さし[illegible]来る[illegible]の風
[illegible]
[illegible]を[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の山[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]の[illegible]
松む[illegible]

空秋
社月
公室
魚江
吉子
高石
茶[illegible]
山田
洗利
[illegible]
理[illegible]

前出

[illegible]月の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

彼是と芭蕉ハ師匠も手の届き　　文
梅ゟ風のふくしと書く　　墨
文銭のうら神主よめハ押捕さ　　素
後乃梅ニ人ハ趣前第ハ夏　　文
月影の紙蛇も虫の消し次第　　墨
障子もまひ夜橋の音　　素
座敷のやうもありこそやまま　　文
石高なる作也きたちハ近所　　墨
来年ハ永も送て竹生嶋　　素

芭蕉ハ是ハ他ハ笠のせんさく　　文
開元ニ節ハ花の留守落役　　墨
言る盆ゟ津れ延ひてかり　　素

下略

嵐かけ蠟燭きたりて秋の暮　　麦文
月影ほうれしやうある東山子ハ　　稜笛
淀橋やしあがらまる明ある屋敷　　千老
引ての汲ミ際流ハ壁等ハ　　風素

[illegible]　作文

稲葉や石垣をたしう鰐の這ふ　日

[illegible]　素江

山里や[illegible]人さびし[illegible]の影　同

[illegible]　和弱　文樓

人稲葉や[illegible]　同

[illegible]　奇雲

堂[illegible]の[illegible]　晩青

[illegible]　[illegible]扇

歌仙　一巻

小[illegible]を碎くか[illegible]　古[illegible]　梁雪

[illegible]　柳葉

[illegible]の影　汲水

[illegible]の[illegible]　素雪

[illegible]の[illegible]　川幸

上[illegible]　流波

山[illegible]

此ころも折あましら菰の乳主　笑飲
蔦も残りて砧花ちりけり　化也
出船を祈る追風吹へけり　雪樵
啼や半月と世ふる古残哉　汝泉
僧頭の雑髭の髪をもつれつく　柳紫
梅一木とても夜さにあられ　余雪
つゆしけ峰を打哉玉兎　化也
寂しく寄くあとまの引枝　雪樵
霧深く別るゝ影にうしろかみ　素洋

雛の日和もあらし交河合　川李
蟷螂なき花も高山緑山　浅波
華え流る去の涛蒙瀞　雪蝶

秋

一葉庵連

神ノ人の声も鈴也音の中　丹生　平文
秋さし須戸の流鹿よ峰の風　琥水
終とりもこし竃よささし峠の風　嵐馬

風の吉田　芳神祠の玉ぶり　冊生　曾什

藤原して賢月の歌や角力を　乙妙

を清うして茄子もちゐ今朝の姫　菊人

朝霧よ芝ふし墨りの祈うう　鶴一

多ふ武ふ子孫の神に堅ふ　倉浦

り　野田　ふしさ信る藤日土　望王

高くの出ちき立て墨屋き　松坂　望月

時くて鎌の芳田屋の彩　波上

陽うく

きくの武ふして陽くの清ん　田丸　山晩

たて西うう時明を芝の首の賢　松坂　み貞

詰鈴の吉しくく井ようう　み祥

乙京田うふ武子浅作芝ふ里屋り　神戸　香長

年の子の世さ　少時の堅ふ　晩仰

京の京一ふ花　思ひしてたや神多の俳しさ

新さよ又玉　概をうちかう京　粤江

あるう中よ露ふる蔦の一すぢ際　松坂　少進

秋ふかし、東ちかき山の坂　惟の高川　幸

秋の色ぞ口ずさむ夕日影　イカヒ十八　越宵

はるかに鶴の聞くなる新酒かな　小ふに　九〻

神ノ松し自ふむ二ぬ三ぬ　京　千尺

生徒、姿を蓋ふ松一系　法四　千歳

蓋ふ蔦ふ法ふりし霧を口を鶴ふ　松坂　胡蝶

秋の蔦ふく蔦ふ男の子　カイハ十　作柏

秋の雨も高佛一かゝ金の蛩蹟　四九　半栗

風低居月ゆ連中

分蔦よおく露ふる松原の月　梅筆

夢物ものち力弦持あるゝ　金魚

横ゝ鶴ノ龍のちゝ花咲ゆ　柳月

唐沙ものち何ふうふ咲く桐ふ葉　芳蝶

新長ノ蔦ふ蔦ふ咲く小兵衛　ゝ鶴

夕霧や風長藤ふる禁寺　宮翔

胡ゝものち蔦胡ゝ麹室　ゝ家

ひゝゝゝ茅屋を結ひゝ

淋ふ蔦ふを家ものうて月今宵　張南

容與亭連

雪の月やはら〳〵踊る人の大文字　曲郎

名月やちの雨ふる菊畑　脂見

秋風はあの雨ふる小松原　京濤

白雲のうらはかはる星の白ひの黄　素堂

ちよ結ぶ新もも新酒もあり　槐齋

酒ちいつちの家　佳夕

すゝきちうふ赤の家の高い塀のくぼ　内藤　徳

山田中林　英和

梅樹のうらうら咲る花咲乳

神戸やちらす雪の白ひの月

神戸和吟子　為水

花の茶碗はしし月のうら寅

吉山子　嘯川

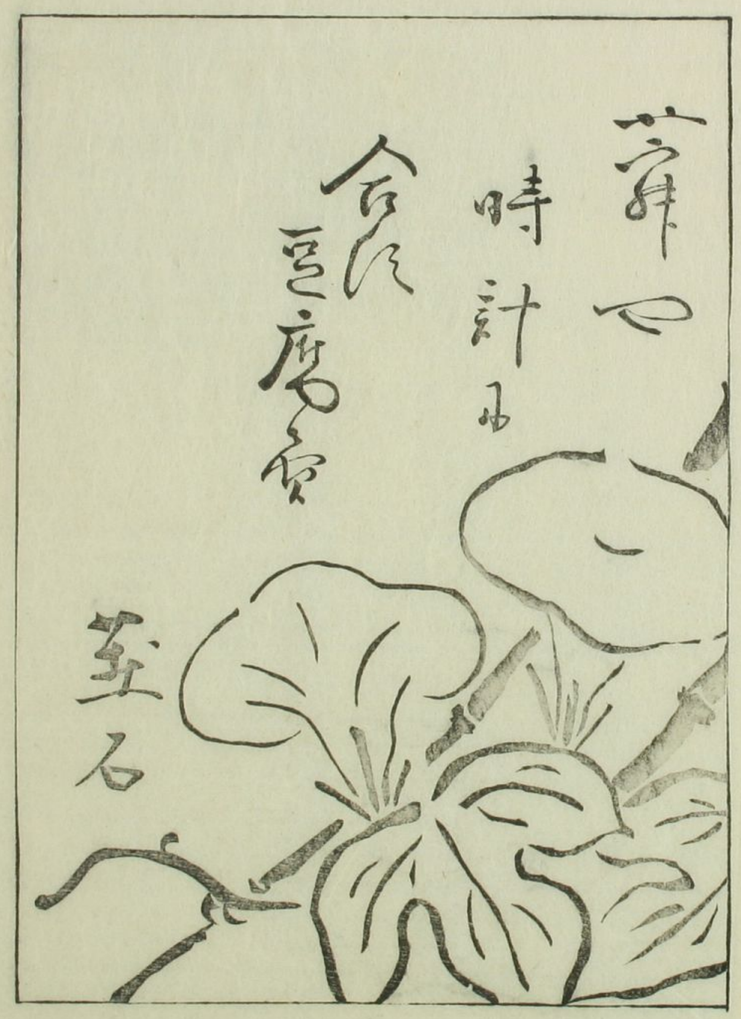
名月や何度も咲る柚の香

同我あつ吟人おもし庵の声　松坂　山橋

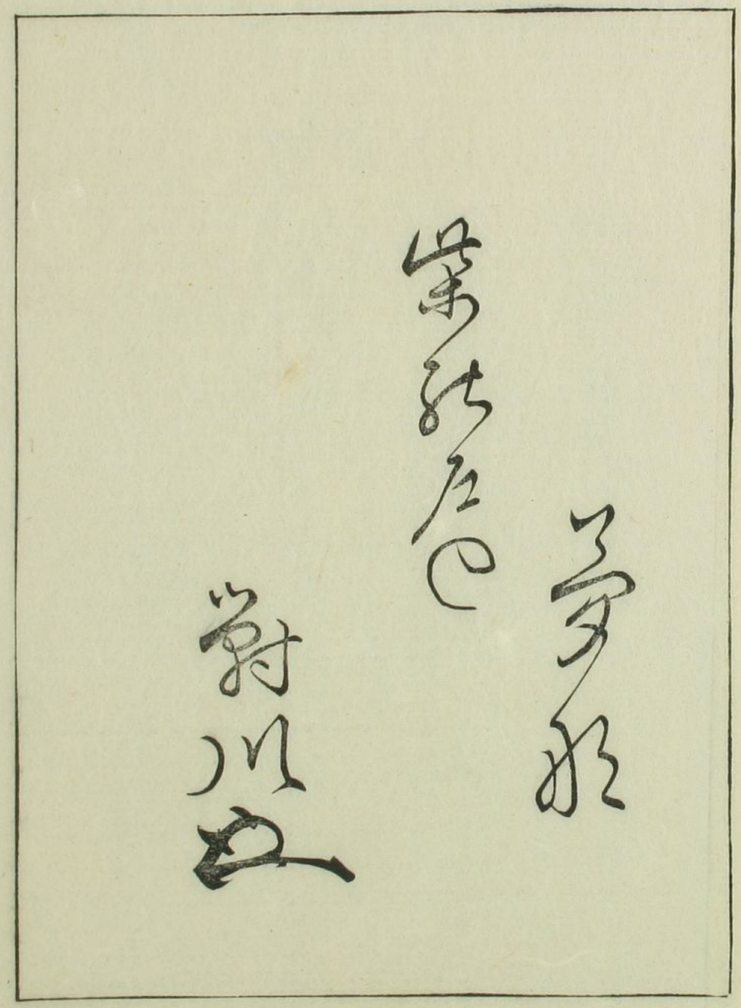
蓼や　湖子　人つ琴　南枝

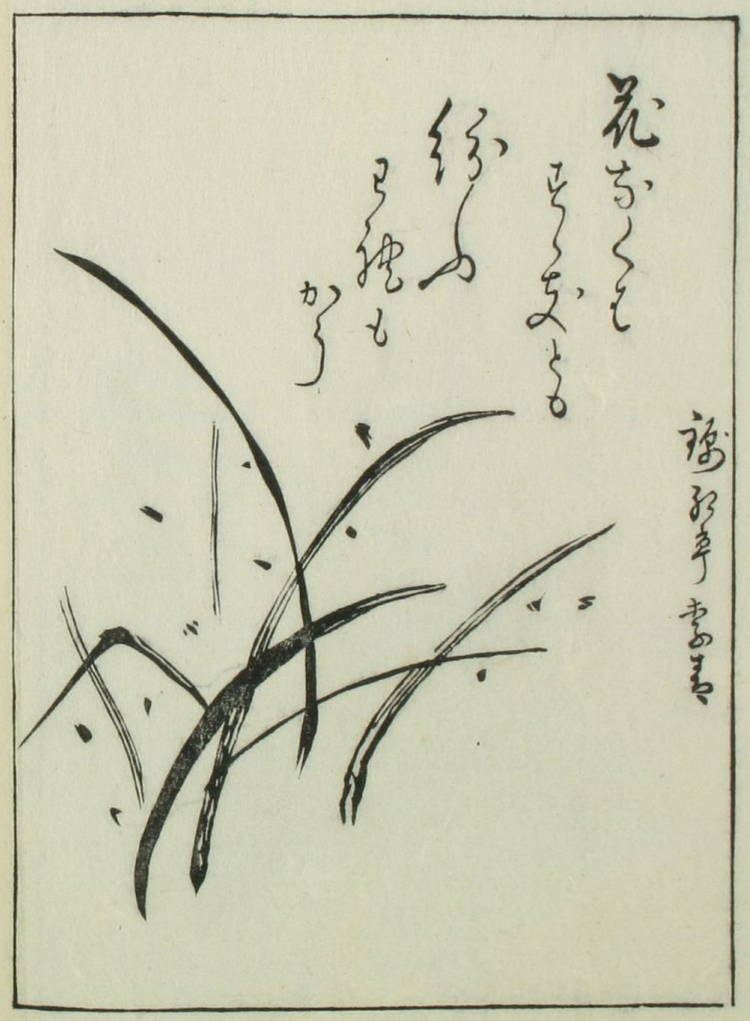
声ちかりやちせ我る常香乳　子友

夕ナ　現況



相模の国の名所の俤　芦雪
貧しきは八重しきの孫角　古仙
河の面に山田に寄く引板の音　芳箕
牛飼の笛に吹の音の磨出　伊勢上野　花咲
苔の家に風吹るすゝ紀氣　巴水
川の水に思ひくの山の色　一紅
相模の時雨の音　弟子　紀筋
時鳥に鳴の音に月の光　光月
大きに風吹るゝ紀氣　月二





歌仙はじめ

郭の雪和尚より鉢の花咲出
タ日我庵集の池の熊樫
樫四方にたちそそり塀越に
初出の石すきまの人
胡蝶も訪るる人の雪の音
ちらちらと爲時雨
京暁

千春
伍観
素江
千春
伍観
素江

歌仙

花ゝとゝ江と紅葉もちゝ色あり　素江
ちゝ行ゝを月と時ゝる山ゝ　千景
大ゝつ風とくもきゝるうちゝ　〃
紅葉　楠を拭ゝ　素江
御ゝよゝ来ゝりゝ新丸天満　〃
雲ゝ鬼ゝ行ゝ友達の　鈴川
降ゝ来ゝ小ゝ酒ゝ樽の松　〃
下略

降扇の如しゝたゝりしゝ
三花の業ゝゝを無しゝ

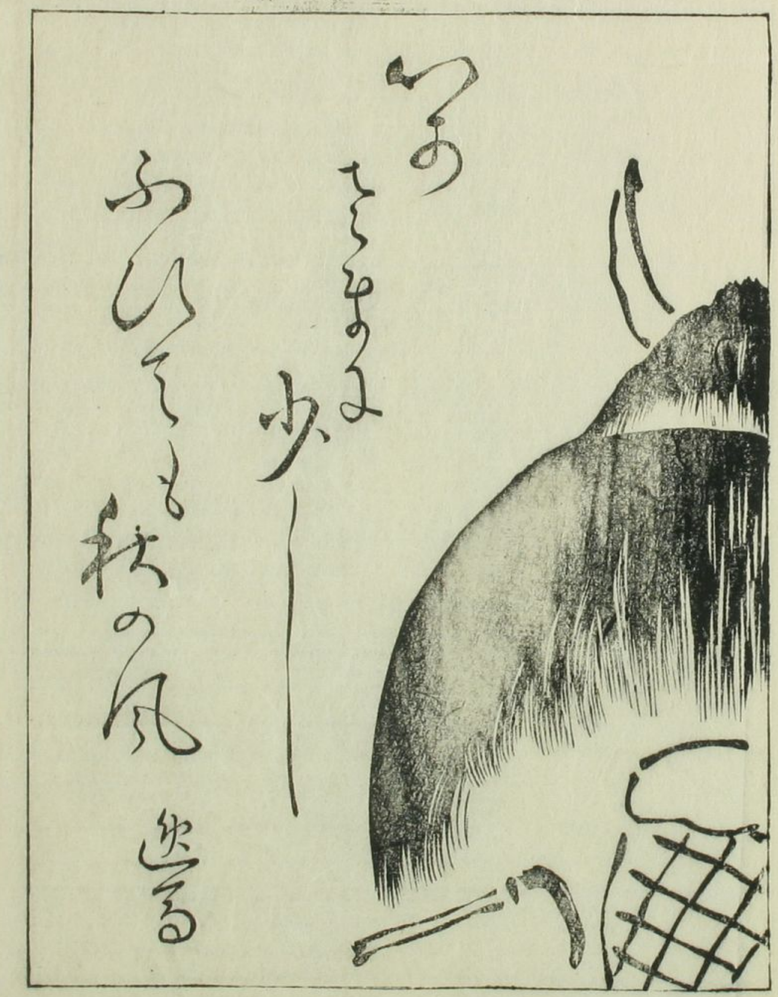
鶯ゝ八十角を宿さゝ妃しゝまゝ　千景
梢の影ゝ久ゝ比丘の黒仙　波扇
ゝゝ月ゝ新酒ゝ後の月を　鶯川
鶯ゝ人ゝ家ゝ仕舞ゝ　千景
里ゝ雀ゝ流ゝ行ゝ　波扇
七ゝ草ゝ花ゝ　鶯川

雲会みな鶴ひとつの扇となり会
業をたきおうち九くをかく　子墨
西月の地をいろ〳〵調へ　波扇
幾仲乙舟ひ月帰る　警川
たのもしをみを家しても如新　子墨
聲る時子何をさやく　波扇
ちる〳〵雲まいる志の如き月の新　警川
戸のあ節周子風蓋て　子墨
碧籬のあ工居眠る舎人も　波扇
警川

旅れ行ふ新城よ之多節　子墨
花ちり踏くてを手の記し山　波扇
色子い雲地ふ下ふかけろの　警川

○

川好よ糸ちるうの鶴屋沙　星会　波扇
川線の風や月よ志むをち猿　糸枝
ひ秋也人声も世如樣ひてし、　宝風



やうかつてくる邸こ之後の月　星合志鶴

長井に移住せし頃、高尾
山より人の招ぎ竿和歌の琴　中林啓川

新ちり吹く風もこの秋の南　松坂渭川

まゝ戸に寄ちる影和賀の月　古流

庵時雨　春を待つ庵の月　菜島

やゝ寒くなる手水鉢　雑吸

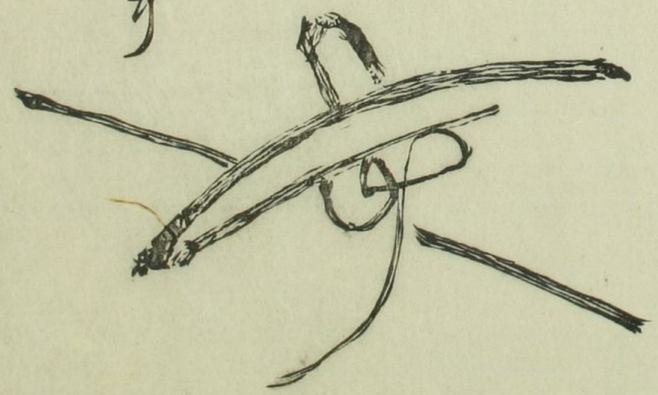
惑り引潮の音の白ひる　鶴川

竹頼齋連

角力とる顔も枯るる角力取子
何となく電葉信也霜の夢如風
打寄る時も鶴和尚茶水子
雲とり紙ひろ[illegible]

雷兒

身ぶし
芭蕉風流
もろく
菊乃露



[illegible]の[illegible]月の[illegible]山　松坂　吳雪

[illegible]　　京　友永

[illegible]の[illegible]　　伊勢　丹市

山[illegible]やなく[illegible]の夕[illegible]　　小糸江　世保

[illegible]　　星合　波扇

[illegible]　　柳祭

女敵[illegible]　　汐水

[illegible]の[illegible]　　雪也

[illegible]の[illegible]連[illegible]声

[illegible]　　京　巴山

[illegible]　　如鈴連月次

[illegible]　　湖雪

[illegible]　　夏山

[illegible]　　警側

[illegible]　　の山

[illegible]の菊[illegible]　　釜尾

[illegible]　　翠流

南記紅蓼舎にて探題

[illegible]の[illegible]も[illegible]の[illegible]張の[illegible]　千景

星合[illegible]扇如しにて[illegible]前出題

[illegible]く[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

中秋[illegible]如しにて[illegible]

[illegible]の月[illegible]の影

乳[illegible]如しにて探題

[illegible]

川[illegible]仙[illegible]如し　千景

[illegible]

和[illegible]山[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]

[illegible]の中[illegible]の[illegible]の影

追加

寂しさや鶯を殺す秋の元　四山亭　巴水

分蕊や何しらの原ゆ下ろす雲　月

秋風や迷ひ子さがす軒の雲　津　林可

朝白や海こそ花の志賀の浦　松仮　春古

梅ちる思ひ出月の今宵哉　嘉石

親と子を亡ぼす戦ひ哀の響　望月

亜ぬかさしく切るめく雲の風　吐芳

庚申ろろ夕暮方の蛍　孤石